

学生生活について

コロナ禍が始まって3年余りが経とうとしています。昨年度までは、学内行事のほとんどが中止となり、授業も対面では行えないという、非常事態が続いておりましたが、今年度初頭から、感染対策を万全に施しながら、ほぼ全ての授業が対面で実施され、学校行事も少しずつ再開されるようになりました。今後コロナ第8波の襲来が懸念されるではありますが、充実したキャンパスライフを送れるよう、感染対策を万全に行いながら教育活動を進めてまいります。

1 楓祭(学園祭)の開催について

11月19日(土)、コロナ禍により2年間中止もしくは縮小開催されていた楓祭が3年ぶりにお客様を招いて通常開催されました。経験者がいない中、ほぼ白紙の状態から準備を進めるのは大変でしたが、メイン広場の模擬店をはじめ、新館ラウンジでの軽音楽ステージやバスケットボールサークルの招待試合、ゼミやサークル、有志による発表や楓ホールでの元サッカー日本代表の武田修宏氏によるスペシャルトークライブなどが盛大に行われ、秋晴れの下、たくさんのお客様で賑わいました。



2 奨学金について

日本学生支援機構の給付型・貸与型奨学金の申請者が増加傾向です。特に給付型奨学金については家庭の経済状況や学業成績など厳しい条件があり、十分な就学意欲が必要です。また、手続きについては申請期日を守っていただくこと、対象者への説明会には必ず出席するなど受給者としての責任を果たす必要があります。

国のコロナ支援の一つとして「大学生等学びの継続支援事業」の募集が行われました。第一期に申請し、認定された学生には、順次5万円が支給されています。二期の募集も終え、現在最終追加募集を行っておりますので、ホームページやポータルサイトを御確認ください(最終締め切り：12月13日(火)16時までに学生課へ)

3 留学生センター

学生課所属の留学生センターは、現在200名余りが在籍する留学生の生活支援たとえば在留資格の更新手続き支援、日本語能力試験指導、交流事業への参加と指導などを専属の職員を配置して行っています。また有志学生によるボランティアスタッフは留学生も含めて24名ほどが在籍し、毎週火曜日に定例会議を行い、交流事業や行事運営の中核を担ってくれています。2年間実施を見送った国際交流フェアを5月28日(土)に学内で実施、また3年ぶりに通常開催となった楓祭でも2ブース模擬店を出店、母国料理を提供して、楓祭に



華を添えました。その他、県立焼津中央高校や市内保育園との交流、日本語弁論大会、留学生対象の華道体験(2回)、茶道体験、静岡呉服町商店街で行われた舞妓ストリートファッションなどに参加しました。



4 ボランティアセンター

学生課所属のボランティアセンターは、学生スタッフが20名ほど在籍し、年間定例活動として地域貢献活動の一環であるエコウォーク(大学周辺のごみ拾い活動)やエコ大作戦(池田山団地の皆さんとの草刈り活動)を行いました。そのほか、こども食堂のボランティアや絵本を贈る運動に参加しています。

